

INVESTORS' GUIDE

The 11th Period

第11期 株主通信

2023年8月1日>2024年7月31日



ごあいさつ

世界経済は底堅い成長を維持しつつも、ウクライナや中東での国際的緊張の長期化、世界的な物価高、金融引き締めの影響等による景気後退のリスクがあります。日本経済は、円安の進行や物価高等の懸念はあったものの堅調な企業業績や雇用情勢、物価高に対応する賃上げにも支えられ、ゆるやかな回復がみられる状況となっております。

このようななか、第11期はほぼ期初予想通りとなり、売上高123億97百万円、営業利益6億84百万円と何れも過去最高、11期連続増収、6期連続の増益を果たすことができました。これは、株式上場以来、より付加価値の高い情報サービスを担えるよう最大限に行ってきた人材投資とM&Aが、既存事業の着実な成長に繋がったことによります。

これもひとえに、株主の皆様始め、携わった全ての皆様のご愛顧、ご支援によるものと厚く御礼申し上げます。

第12期は、売上高140億円、営業利益8億円とさらなる増収増益を予想しており、2030年には売上高300億円、営業利益30億円を目指す、高い目標を掲げます。

世界経済は混沌としていても、レガシー遺産の維新やDX（デジタルトランスフォーメーション）による情報システム需要は着実に高まっており、経済産業省の予測では2025

年には45万人、2030年には80万人のITエンジニアが不足すると予測されていることから、IT業界の需要は確実にあると考えております。このような状況に対応するため、採用と育成に対する人材投資を一層に高め、6%の待遇改善を行い技術者の定着性を高め、積極的なM&Aで幅広い技術とサービスを獲得していく所存でございます。

DXに加え、生成AIへの対応、脱炭素社会（カーボンニュートラル）の実現に向けた取り組み等で、より一層に情報システム需要は高まると予想しております。さらなる成長を目指し、一歩ずつ着実に進んでまいりますので、より一層のご愛顧、ご支援を賜りますよう、深くお願い申し上げます。

代表取締役 会長兼社長



グローバル情報技術で笑顔を創る
株式会社 SYSホールディングス

証券コード：3988



事業の概況

Business Highlight

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な金融引き締めによる円安の進行や物価高による景気後退の懸念はあったものの、堅調な企業業績と雇用情勢、物価高に対応する賃上げにも支えられ、ゆるやかな回復がみられました。しかしながら、ウクライナや中東をめぐる国際的緊張の長期化や世界的な物価高、金融引き締めの影響による景気後退リスクもあり、日本経済の先行きは不透明な見通しとなっています。

当社グループが属する情報サービス産業においては、経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査2024年6月分確報」の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比4.2%増と27か月連続の増加、「受注ソフトウェア」は、同6.6%増と27か月連続の増加となりました。

このような経済状況のなか当社グループは、新規受注の獲得や、顧客からの信頼を獲得し、リスクが低く安定した収益が期待できるリピートオーダーの提案・受注に努めました。

それらの結果、前連結会計年度及び当連結会計年度のM&Aによる新規連結子会社の増加や、社会情報インフラ・ソリューションの顧客からの受注が堅調に推移したこと、技術者の稼働人数が増加したこと等が売上高増加の要因となり、過去最高の売上高になりました。

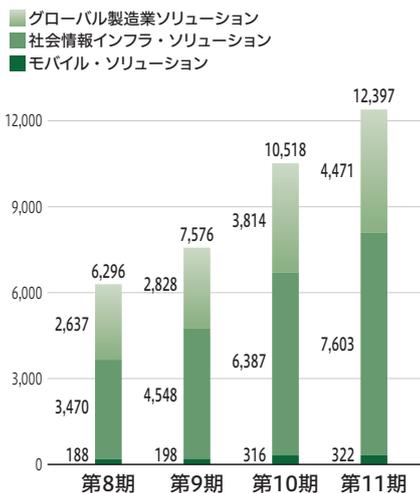
従業員の待遇改善による人件費の増加はあったものの、売上高の増加に加え前連結会計年度よりもM&A関連費用が減少したこと等から営業利益が増加しました。また営業外収益として、為替差益等を計上したこと等により、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が増加し、過去最高益となりました。

以上の要因により、当連結会計年度における連結業績は、売上高12,397,057千円(前期比17.9%増)、営業利益684,902千円(前期比31.6%増)、経常利益747,149千円(前期比26.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益471,616千円(前期比27.4%増)となりました。

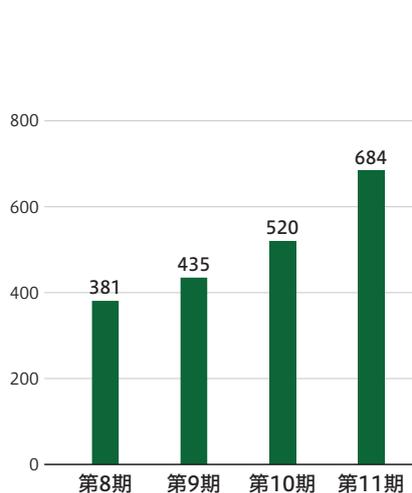
業績ハイライト

Financial Highlight

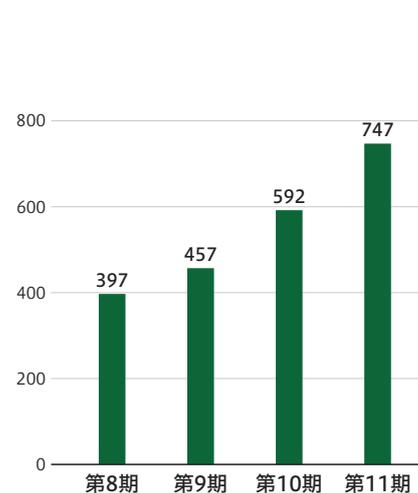
売上高 (単位: 百万円)



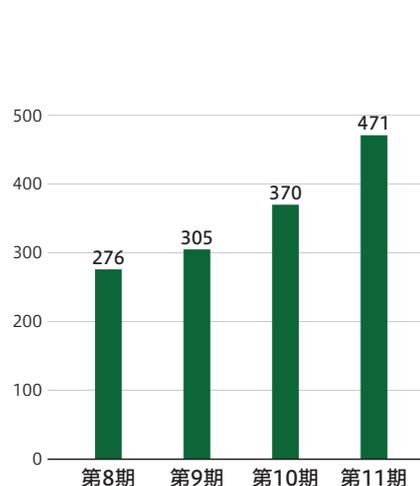
営業利益 (単位: 百万円)



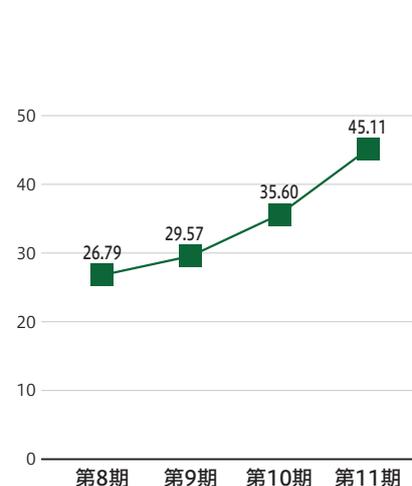
経常利益 (単位: 百万円)



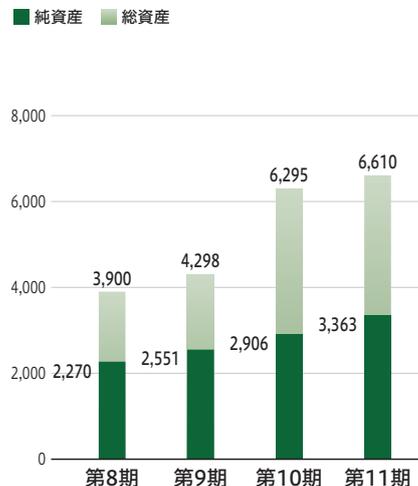
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)



一株当たり当期純利益 (単位: 円)



純資産/総資産 (単位: 百万円)



※2022年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、また、2024年8月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、第8期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、一株当たり当期純利益を算定しております。

※記載金額は、表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

当社グループが属する情報サービス産業については、DX(デジタルトランスフォーメーション)市場の拡大や、レガシーシステムの刷新等の需要が見込まれるほか、企業の競争力維持のためのソフトウェア投資は引き続き一定の需要があるものと思われまます。定常化しているIT技術者の人材不足についても継続する見通しです。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き一定の需要が見込まれる顧客からの受注を進める一方、受注時のリスク見極めの強化や見積精度の向上、各現場での生産性の向上による収益性の向上に努める方針です。また、

従業員の採用や待遇改善による費用の増加を見込んでおります。また、情報システム投資による業務効率の向上は引き続き継続し、M&Aは積極的に推進する方針です。

2025年7月期の連結業績につきましては、売上高14,000百万円(当連結会計年度比12.9%増)、営業利益800百万円(当連結会計年度比16.8%増)、経常利益811百万円(当連結会計年度比8.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益485百万円(当連結会計年度比2.7%増)と予想しております。

トピックス

M&Aの実績

シー・アイ・システム株式会社
2024年2月1日全株式を取得し、子会社化



- 設立/1987年6月15日
- 所在地/三重県津市羽所町
- 事業内容/コンピュータソフトウェアの開発・販売・運用

右:シー・アイ・システム株式会社
代表取締役 大森善夫(当時)

株式会社マリオン
2024年3月29日全株式を取得し、子会社化



- 設立/1998年8月21日
- 所在地/東京都豊島区駒込
- 事業内容/コンピュータソフトウェアの開発・企画・設計

前列右:株式会社マリオン 代表取締役 藤田栄三(当時)

株式会社アダムアップ
2024年8月1日全株式を取得し、子会社化



- 設立/2011年11月22日
- 所在地/東京都港区浜松町
- 事業内容/コンピュータソフトウェアの開発・販売・運用

右:株式会社アダムアップ
代表取締役 小山田勝(現最高顧問)

株式会社SUNシステムズ
2024年8月1日全株式を取得し、子会社化



- 設立/2004年1月30日
- 所在地/東京都豊島区東池袋
- 事業内容/コンピュータソフトウェアの開発・販売・運用

※2024年10月1日付で株式会社オルグを存続会社、株式会社SUNシステムズを消滅会社とする連結子会社間の吸収合併を実施しております。

左:株式会社SUNシステムズ
代表取締役 内田誠

社会貢献事業

1月5日能登半島地震へ
義援金100万円

業界・地域・社会貢献

この理念に基づき、今後も高い倫理観と社会的良識をもって社会の発展に寄与してまいります。一日も早い被災地の復興を、心よりお祈り申し上げます。

左:中日新聞社相談役
社会福祉法人中日新聞社会事業団
理事長 河津市三様
右:当社取締役専務執行役員
管理本部長 後藤大祐



教育事業—IT道場

経済産業省・厚生労働省の認可を受け、
リスキリング講座として本格始動

未経験からはじめる実践型
プログラミングスクール



出世払いOK!※2 就職するまでお支払い不要

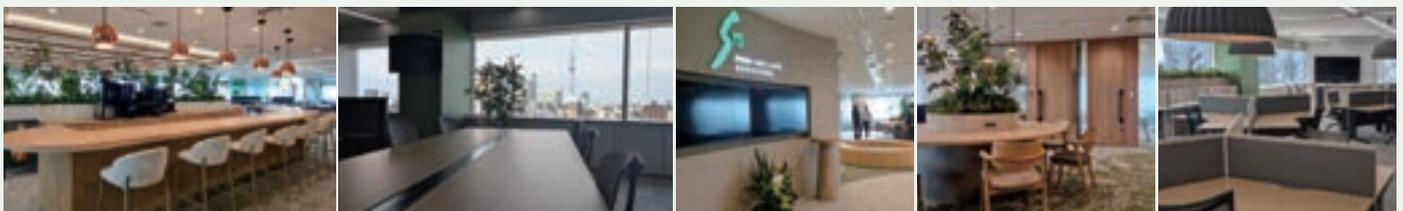
※1 就職保証制度とは、就職できなければ受講料無料とするISA支払による制度です。就職保証制度の適用条件など詳細についてはお問い合わせフォームから当スクール担当者にお問い合わせください。
※2 出世払いOKとは、就職後に授業料をお支払いいただく支払方法(ISA制度)を指します。

- 経済産業省…リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業 採択
- 厚生労働省…専門実践教育訓練 指定講座 採択

経済産業省支援事業
給付金制度活用で
受講料が最大
70%off

関東事業所移転

働きやすさと業務効率を両立した新オフィス



会社概要 (2024年7月31日現在)

会社名	株式会社SYSホールディングス
英訳名	SYS Holdings Co.,Ltd.
所在地	愛知県名古屋市中区代官町35番16号
設立	2013(平成25)年8月1日
資本金	401,001千円
従業員数	1,520名(グループ含む)

連結子会社

(株)エスワイシステム
(株)SYI
(株)エス・ケイ
(株)総合システムリサーチ
(株)グローバル・インフォメーション・テクノロジー
(株)テクノフュージョン
(株)オルグ
サイバーネックス(株)
(株)レゾナント・コミュニケーションズ
(株)スレッドアンドハーフ
(株)ネットパーク21
つくばソフトウェアエンジニアリング(株)
(株)アイガ
シー・アイ・システム(株)
(株)マリオン
PT.SYS INDONESIA
THAI SOFTWARE ENGINEERING CO., LTD.

役員 (2024年10月29日現在)

代表取締役会長兼社長	鈴木 裕紀
取締役専務執行役員	後藤 大祐
取締役	一柳 泰行
取締役	玉本 真也
取締役執行役員	風間 哲也
取締役(社外)	岩田 則子
取締役常勤監査等委員	堀江 克由
取締役監査等委員(社外)	森戸 尉之
取締役監査等委員(社外)	深井 貴伸

株式の状況 (2024年7月31日現在)

発行可能株式総数	16,000,000株
発行済株式の総数	5,258,084株
株主数	1,572名

株主メモ

Information for Shareholders

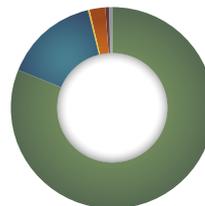
事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
基準日	定時株主総会 7月31日 期末配当 7月31日 中間配当 1月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告方法	電子公告 アドレス: https://www.syshd.co.jp/ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

大株主 (2024年7月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
鈴木 裕紀	1,955,463	37.32
安田 鉄也	722,489	13.79
三井住友信託銀行株式会社(信託口 甲20号)	646,274	12.33
SYSHDグループ従業員持株会	400,400	7.64
DAIWA CM SINGAPORE LTD-NOMINEE KATO TOMOHISA	88,300	1.68
長崎 純一	53,000	1.01
石村 藤夫	45,000	0.85
瀬戸信用金庫	40,800	0.77
株式会社三井住友銀行	40,000	0.76
株式会社百五銀行	40,000	0.76

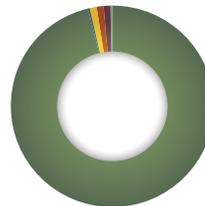
(注)1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 三井住友信託銀行株式会社(信託口 甲20号)646,274株は、鈴木裕紀が委託した信託財産であり、信託契約上、議決権の行使については、同氏が指図権を留保しております。

株式分布状況 (2024年7月31日現在)



株式数構成比

個人・その他	4,266,481株	81.14%
金融機関	794,674株	15.11%
その他国内法人	11,502株	0.22%
外国人	127,754株	2.43%
金融商品取引業者	38,131株	0.73%
自己名義株式	19,542株	0.37%



株主数構成比

個人・その他	1,514名	96.31%
金融機関	5名	0.32%
その他国内法人	14名	0.89%
外国人	21名	1.34%
金融商品取引業者	17名	1.08%
自己名義株式	1名	0.06%